

---

# 異世界を渡る男の娘

大雅

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

異世界を渡る男の娘

### 【Nコード】

N2131Y

### 【作者名】

大雅

### 【あらすじ】

テンプレのごとく転生して原作に介入してみようと考えてる男の娘  
まずは天地無用の世界へ  
一応えっちとキーワードに入れましたがそうなるかは分かりません

## プロローグ

今、俺は真っ白な空間に胡坐をかきながら座っている。

「どこだココ・・・？」

んー・・・とコメカミを叩きながら記憶を思い出そうとしていたら後ろから声が聞こえてきた

「あのースイマセン？」

振り向くと其処には、女性と少女が立っていた。

「あつ、やっと気付いてくれましたね。私はヤハウエ、神などをしてします。」

ヤハウエと名乗った女性が急に自己紹介を始めたのを聞きながら、なぬ・・・神？とか考えていたら

「この子はイリス、生まれたばかりなので感情があまり出てないけどよろしくね？」

「ヨロシクネ？」

と見た目4〜5歳の少女の方も、自己紹介を続けていく。

「あのー・・・話が急すぎて、頭がついていけないんですけど。ココ何処です？」

真っ白い空間で気が付く 急に後ろから話しかけられる 急に自己紹介が始まる

普通にこんなことが起きたら頭が付いてこないと思う。

「ああ、そうですね？まずはどこから言えばいいかしら？」

「イイノカシラ？」

などと言いながら神様？（自己申告のみ）とイリスちゃんが首を傾げる。

そして、イリスちゃんの背中を押し俺の前に出させると

「実は、この子に仕事を教えようと思って連れて来たら、あなたの寿命の書類に落書きしちゃって

あなた死んでしまったのよ」

「ゴメンナサイ」

実にサラッと衝撃の事実を言うヤハウエさんと謝るイリスちゃん

なんか、よく読むSSなどにありそうなテンプレ展開に行きそうな雲行きになってるなあと考えていたら

「こいうのも酷なんだけど、今回のことであなただは輪廻の輪から外れてしまったてどうしようかなと思ってるのよね」

「そうなんですか？ところでイリスちゃん、ちよつとおいで？」  
と言いなから手招きしてみる

「？」

トテトテと歩いてきたところを持ち上げ、胡坐の上に座らせ後ろから抱きしめあごを頭の上に置く

思っていたよりも抱き心地がよく、イリスちゃんの方も嫌がるそぶりも見せないどころか

背中を預けウトウトとし始めている。

その後もヤハウエさんと今後どうするかとか話してるうちに、何となくこつこつ転生モノのSSなどを読んだ  
と言つ話になつたところでヤハウエさんが

「それ、いいかも？」

と言ひ出しテンプレよろしく願ひ事3個までなら叶えるよ？とのこと  
「それじゃ、一つ目は色々な世界（特に漫画とかの世界）を見てみたいから任意で世界を渡るようにできる？」

「んーできるみたいよ？」とヤハウエさん  
できるみたい？って誰に聞いたの？とか思ひながらも

「二つ目は、情報さえあればどんなこともやれる様になる【学習能力】とかできる？」

「んーできますね」と軽く言つてくる

「三つ目は、アカシックレコードを覗けるようにして」

「アカシックレコードですかぁ・・・」ちよつと待つてくださいね

と、何処かに確認をとる様な感じで  
虚空を見つめて、そして「OKだそうです」と一言  
やっぱ誰かに聞いているなあとか思いながら、胡坐の上ではイリスち  
やんがスヤスヤと寝てたりする。

その後も少し能力のことを話しながら、世界の渡り方・アカシック  
レコードへの繋ぎ方などのやり方を  
教わる

そしてこの場所は、世界とは隔絶された場所らしく最初はヤハウエ  
さんが送ってくれるとの事

それならばと「最初は天地無用の世界に行きたい」と言ったら「わ  
かりましたあ」と

真下に黒い穴……

俺は……イリスちゃんごと落ちていきました!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2131y/>

---

異世界を渡る男の娘

2011年11月4日17時13分発行